

FAST-Report

状態監視&通報機能により接点変化や上下限值超過を監視して通報メールを送信

■ 概要

FAST-Reportは、FASTシリーズに接点状態の変化や上下限值超過監視によるメール通報機能を付加したバージョンで、通信インフラとして携帯事業者各社のデータ通信専用サービスを利用することで、安価なランニングコストで遠隔監視システムを運用できます。

監視可能な最大点数は、接点およびアナログ測定が8点、パルス2点の合計10点です。(タイプにより異なります)
通常のデータロガーとしての機能も備えているので、異常時のデータのほか、設定間隔で測定したデータを内蔵メモリに記録することができ、記録したデータはメールの添付ファイルとして指定のメールアドレスに送信できるため、現地に向くことなくデータ回収が可能です。

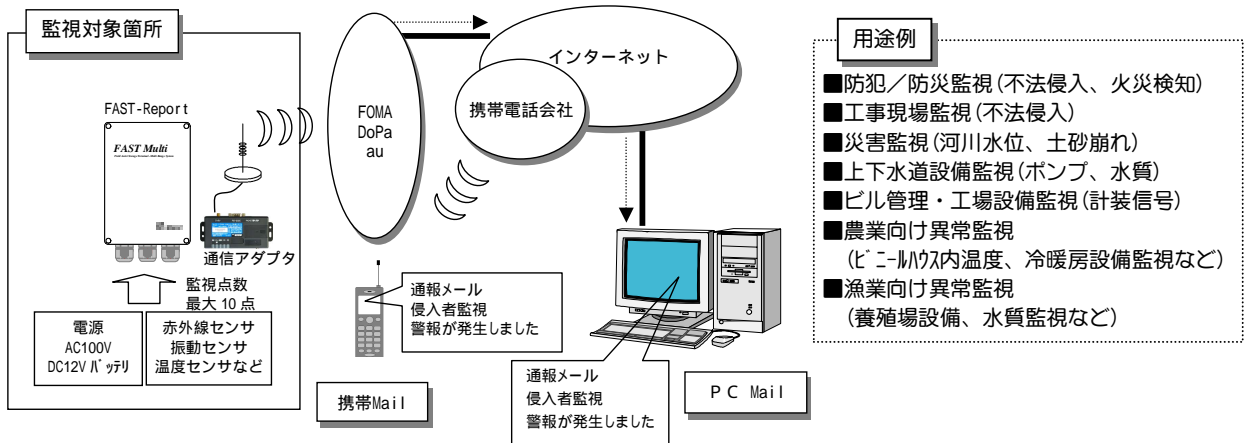
■ 特徴

- ・接点状態の変化や測定値が予め設定した上下限値を超過した場合にPCや携帯にメール通報
- ・通報メールは箇所まで設定でき、それぞれの監視内容毎に通報内容を設定可能
- ・インターネットに接続できるPCや携帯電話さえあれば、特別なソフトやセンタ構築が不要
- ・異常時のデータや設定間隔での測定データを、メール添付ファイルとして送信可能(CSV形式)
- ・NTTドコモ(DoPa/FOMA)、KDDI(CDMA 1x)の携帯ネットワーク、一般電話回線に対応
- ・携帯ネットワークを利用した通信では電話工事などが不要で、設置/撤去が簡単

■ ランニングコスト例 (NTTドコモ様 FOMA回線利用時)

FOMA回線基本料金	800円 (FOMAユビキタスプランS)
moperaU利用料金	500円 (NTTドコモ様提供のインターネット接続サービス/1メールアドレス付与)
固定料金分 計	1,300円
従量制分通信料金	10~20円/1通報 ※金額は税別です

■ システムイメージ



■ FAST-Report仕様

下表では通報機能についてのみ記載しています。基本機能については、FASTシリーズ各タイプのパンフレットをご覧ください。

項目	仕様
監視点数	最大で10点 (接点・アナログの組合せ 8点/パルス 2点) ※監視点数は機種タイプにより異なります。パルスはパルス入力付きの機種に限ります。 接点・アナログの組合せは、レンジ設定により自由に割り付けできます。
通報条件	接点 : ON時/OFF時 (正論理/負論理選択可能) アナログ: 下限値超過時/復帰時および上限値超過時/復帰時
確定時間	0~3600秒
通報メール送信先	最大6アドレス
データ回収間隔	設定間隔 (時分設定: 10分~24時間) / 毎日 (時刻指定)
対応通信回線およびアダプタ	NTTドコモ: FOMA (FOMA ユビキタスマジュー専用アダプタセット) DoPa (Mobile Ark) KDDI : CDMA 1x (02-K's1 [安川情報システム社製]) 一般電話回線: アナログモデム
価格	FASTシリーズの各タイプの価格+50,000円 (税込52,500円) ※価格には通信アダプタやアンテナなどの費用は含んでおりません。 通信形態、設置環境やAC電源の有無などによって必要な機器が異なりますので、別途御見積させていただきます。



株式会社 M.C.S

〒060-0063

札幌市中央区南3条西8丁目7番地4 遠藤ビル5F

TEL 011-596-0201

FAX 011-596-0234

URL <http://www.mcs-fs.com>

E-MAIL info@mcs-fs.com

※仕様及び価格は、改良のため予告なく変更することがあります。 2009.06.01